

活動報告

団体名	NPO 法人 ディープデモクラシー・センター
活動名	長期化する支援を地域で担うための千葉南部災害支援センター運営事業
活動期間	2019/10/01～2020/3/31
活動の成果	<p>発災以来、おおよそ半年で人材育成を通じ、千葉南部災害支援センターへのボランティア登録者数が 200 名近くなったことをみると、地域で地域を支えていく人材を育成し、支援のプラットフォームをつくる、という目標は概ね達成できたものと考えるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり本格的に稼働するのはまだまだこれからだといえよう。鴨川市、鋸南町など具体的にニーズの受け渡しや資機材の提供についての合意ができたところもあれば、まだまだ詳細まで話が進んでいない地域もあり、新年度の課題といえる。地域住民への聞き取り調査においては、罹災証明の取得率の低さが顕著にみられ、地域における支援制度の理解促進の取り組みが必要と思われる。また、同じ聞き取りにおいて、次の災害に対する不安の声が多く、制度理解とともに、不安解消の取り組みを行わないと、地域全体の低迷につながりかねないこともあり、わたしたちとしても対応を検討していきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様にご支援・ご協力いただき、民間主導の災害支援プラットフォーム・千葉南部災害支援センターはここまで活動できました。多発する自然災害を前に、わたしたちは災害対応についてもあらたな時期を迎えていることを痛感します。毎回毎回、災害が起こるたび非常時として緊急対応していくには限界があります。地域で地域を支える仕組みをみんなでつくっていく必要があるのではないのでしょうか。わたしたちは台風 15 号、台風 19 号、そして関東豪雨と続けざまに被害を受けました。しかしそのことで、地域に足りないものも見えてきました。わたしたちは、千葉南部災害支援センターを地域の災害支援のプラットフォームとして機能させていく考えです。ご支援・ご協力、本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

